

## IV.結果の概要

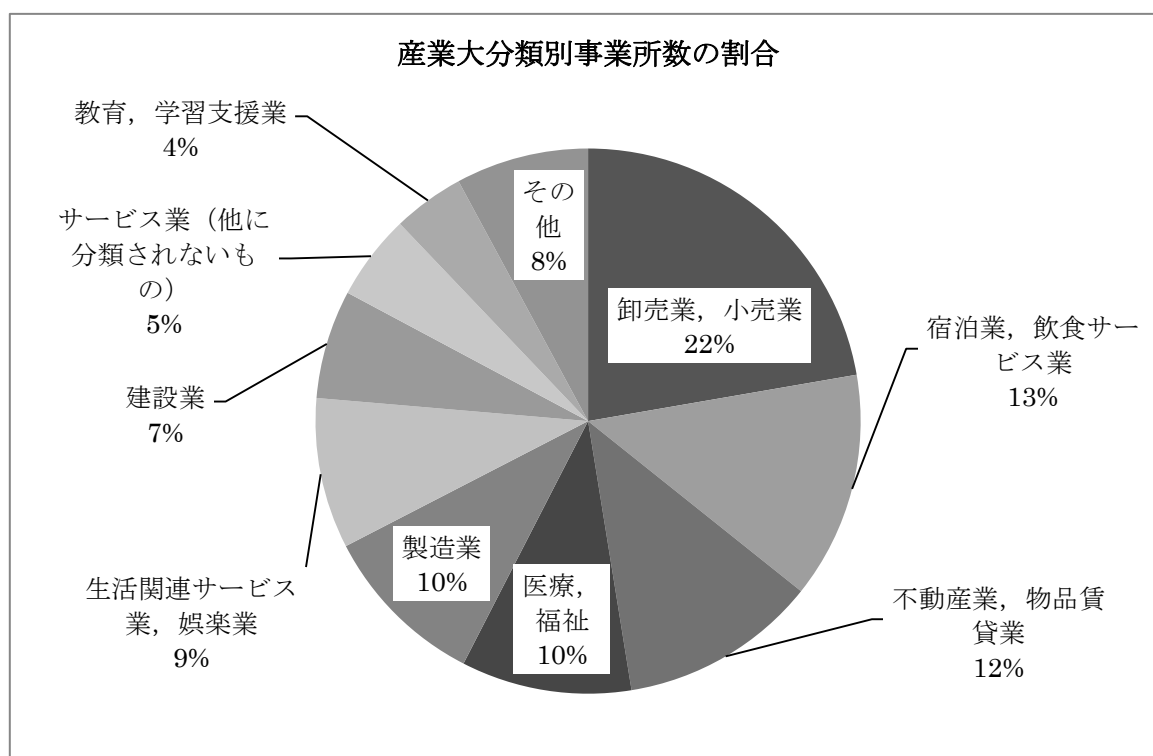
### 事業所数は1万3千587事業所、従業者数は12万3千697人

平成24年2月1日を調査期日として実施した「平成24年経済センサス-活動調査」による豊中市の事業所数は、1万3千587事業所(1km<sup>2</sup>あたりに371事業所)、従業者数は12万3千597人であり、平成21年7月1日を調査期日として実施した「平成21年経済センサス-基礎調査」の民営事業所と比較して、989事業所、従業者数5,431人減少した。

また、男女別従業者数は、男性が6万5千182人(男女比52.7%)、女性が5万8千193人(同47.0%)であった。

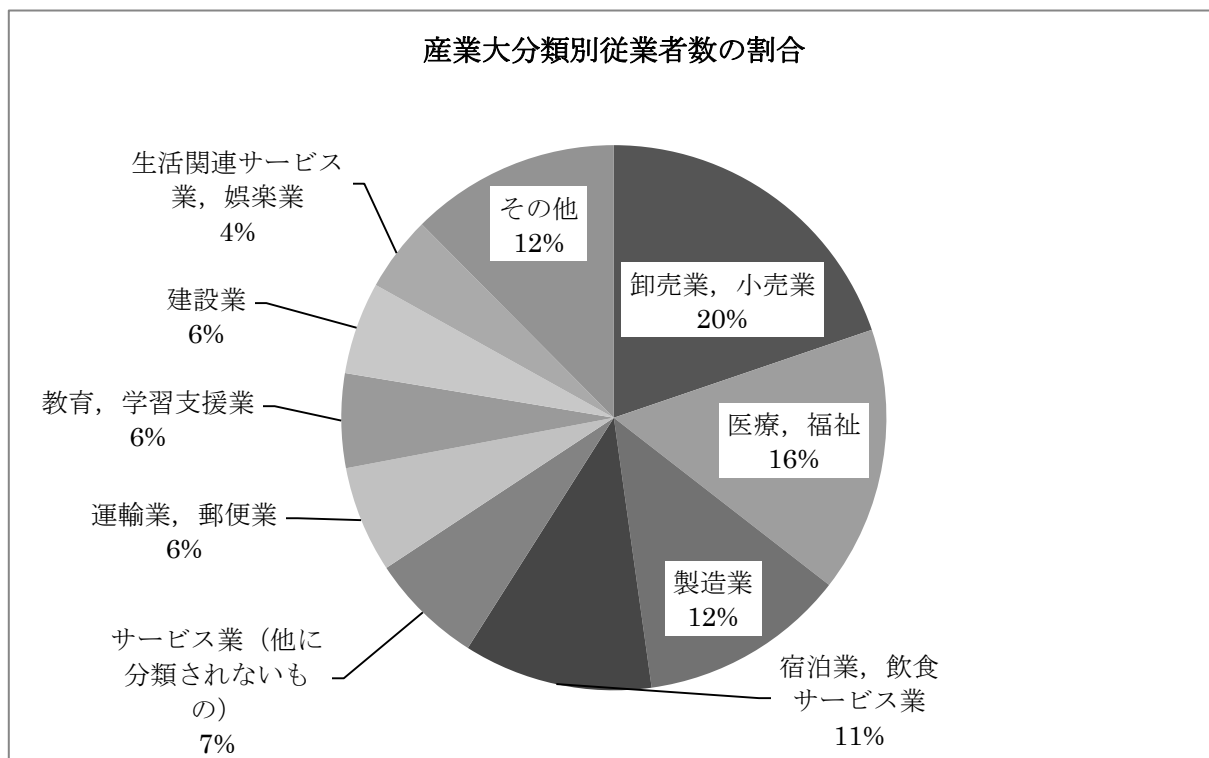
### 1番多いのは、事業所数・従業者数ともに「卸売業、小売業」

豊中市の産業大分類別事業所数は、「卸売業、小売業」が最も多い3千27事業所(22.3%)、次いで「宿泊業、飲食サービス業」が1千827事業所(13.4%)、「不動産業、物品賃貸業」が1千593事業所(11.7%)であり、この3つの産業で約半数を占めている。

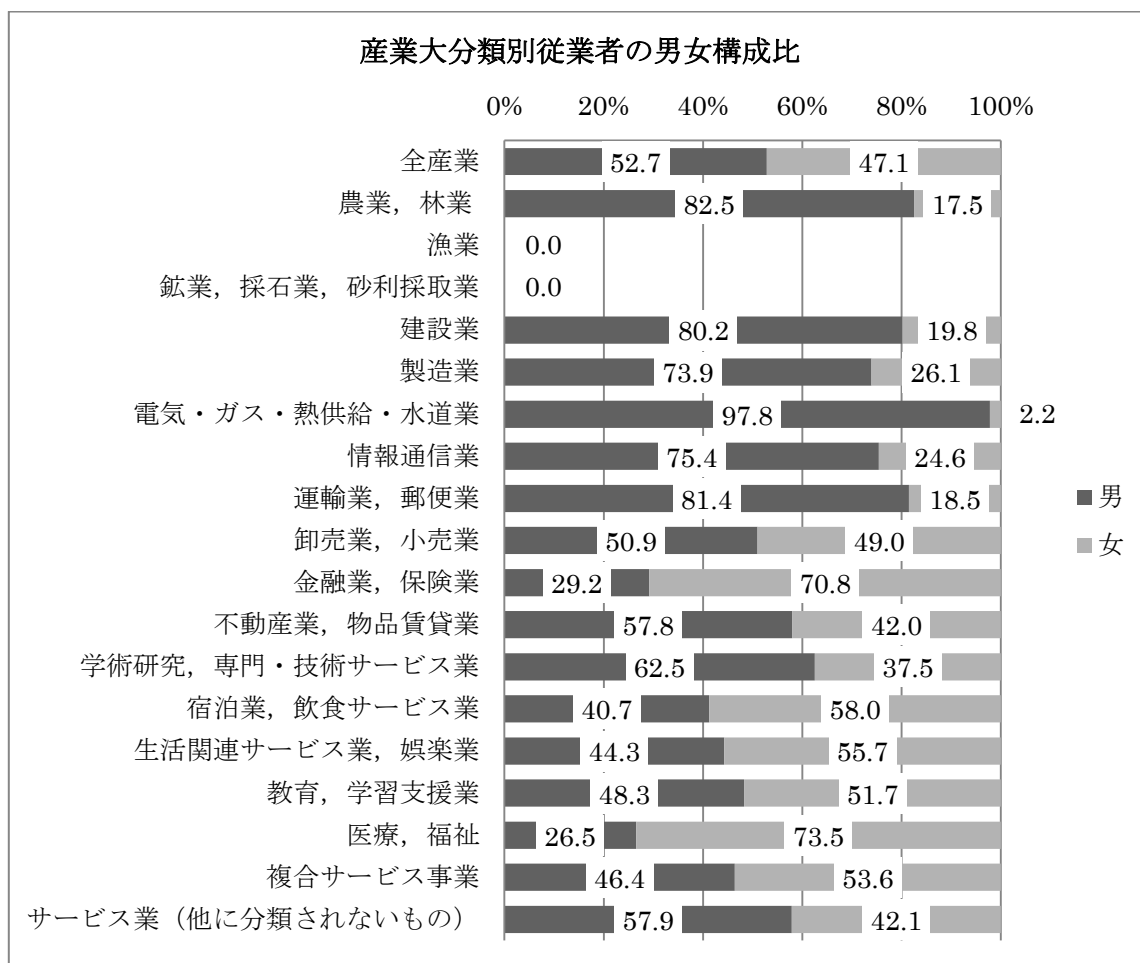


一方、従業者数も、「卸売業、小売業」が2万4千438人(19.8%)と最も多くなっており、次いで「医療、福祉」1万9千451人(15.7%)、「製造業」1万5千170人(12.3%)となった。

10 結果の概要

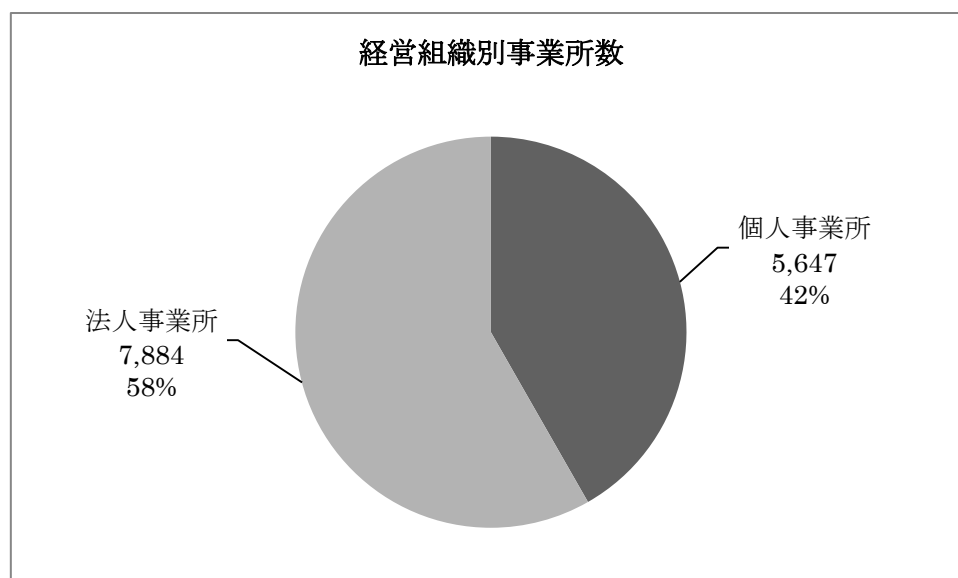


産業大分類別の従業者の男女構成比によると、「電気・ガス・熱供給・水道業」が男性の割合が最も高く97.8%であり、女性では73.5%の「医療, 福祉」であった。



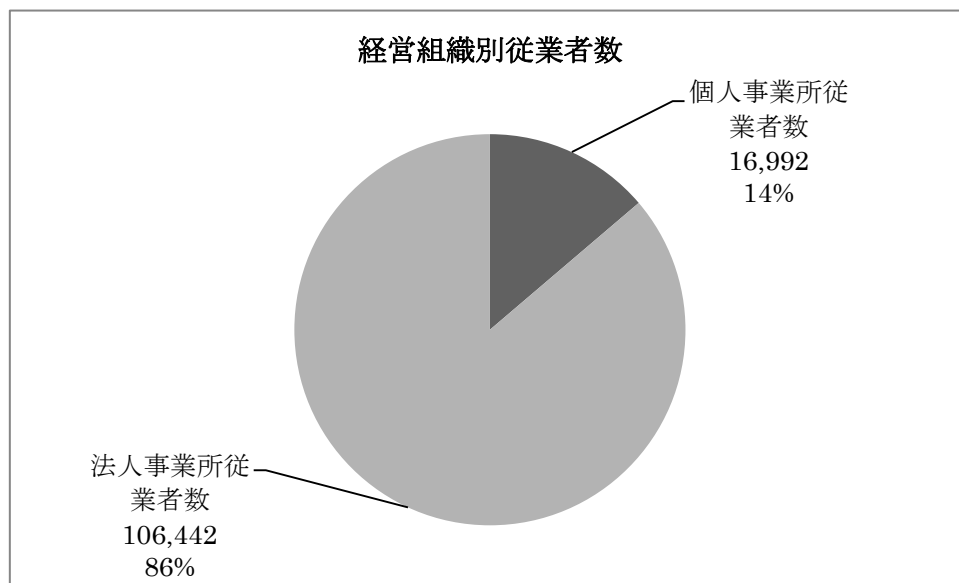
## 法人事業所が多い

経営組織別事業所数は、個人経営の事業所が 5 千 647 事業所(41.5%)、法人が経営する事業所が 7 千 884 事業所(58.0%)であり、法人事業所が多い結果となった。



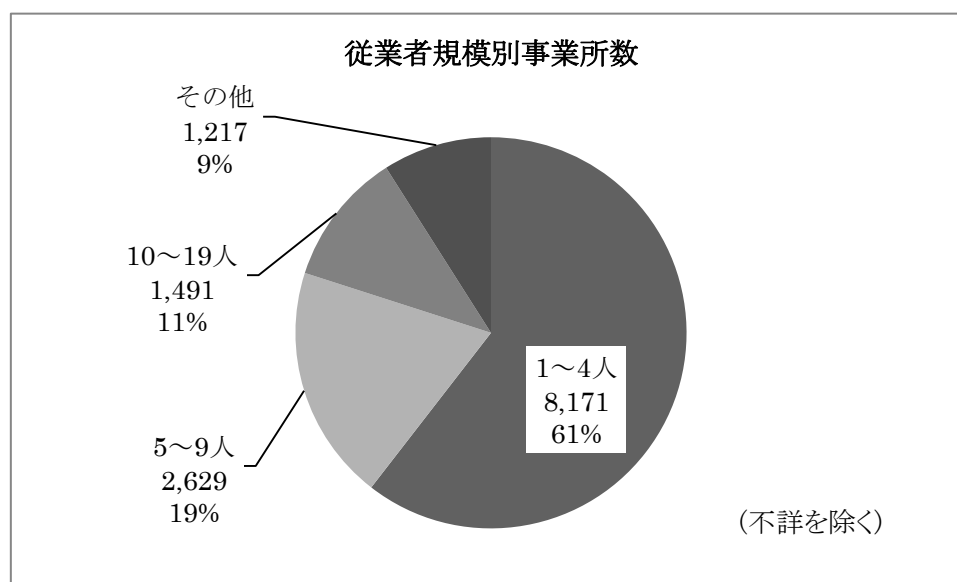
## 12 結果の概要

また、個人経営の事業所の従業者数は1万6千992人、法人は10万6千442人であった。

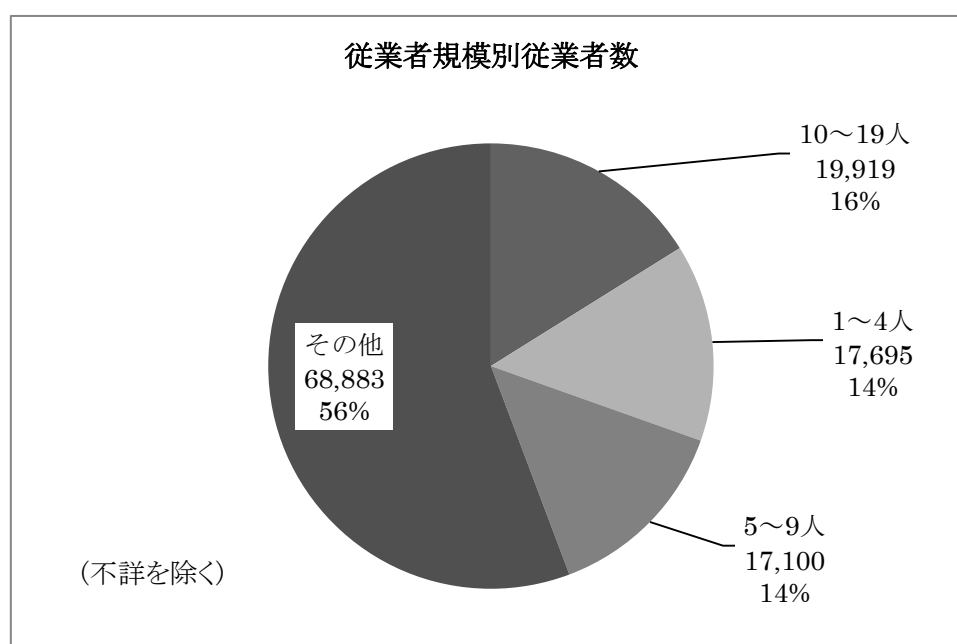


## 従業者規模別では、1～4人の事業所が一番多く、従業者数は10～19人の事業所が一番多い

従業者規模別では、「1～4人」の事業所が最も多く8千171事業所(60.1%)であり、次いで「5～9人」2千629事業所(19.3%)、「10～19人」が1千491事業所(11.0%)であった。



一方、「10～19人」の事業所の従業者数が1万9千919人(15.3%)と最も多く、次いで「1～4人」が1万695人(14.4%)、「5～9人」1万7千100人(13.9%)であった。



## 14 結果の概要

### 事業所数が多いのは本町、従業者数が多いのは新千里東町

町別の事業所数では、本町の712事業所(5.2%)が最も多く、次いで新千里東町の618事業所(4.5%)、中桜塚が506事業所(3.7%)であった。

従業者数は、新千里東町が1万252人(8.3%)、次いで新千里西町が5千567人(4.5%)、本町が4千605人(3.7%)であった。

順位	町名	事業所数	比率(%)	順位	町名	従業者数	比率(%)
1	本町	712	5.2	1	新千里東町	10,252	8.3
2	新千里東町	618	4.5	2	新千里西町	5,567	4.5
3	中桜塚	506	3.7	3	本町	4,605	3.7
4	庄内西町	504	3.7	4	螢池西町	3,866	3.1
5	庄内東町	354	2.6	5	庄内西町	3,566	2.9

また、町別の売上(収入)額は、新千里東町が7千67億7千800万円(34.1%)であり、次いで、少路が2千82億6千264万円(10.0%)、新千里西町が827億6千894万円(4.0%)となった。

(単位 万円)

順位	町名	売上(収入)額	比率(%)
1	新千里東町	70,677,800	34.1
2	少路	20,826,264	10.0
3	新千里西町	8,276,894	4.0
4	利倉	5,864,174	2.8
5	寺内	4,938,603	2.4

## 大阪府内における豊中市の事業所数は 4 位、従業者数は 5 位

大阪府内は、40 万 8 千 713 事業所、従業者は 433 万 4 千 776 人であり、そのうち、豊中市が占める事業所及び従業者の割合は、ともに約 3%である。

事業所数は、東大阪市に次いで 4 位、従業者数は吹田市に次いで 5 位であった。

